

令和3年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	公民科		
教科	倫理	単位数2単位	学年・コース・組 高3特選文系
使用教科書	改訂版 現代の倫理(山川出版社)		
副教材等	改訂版 現代の倫理ノート(山川出版社)		

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める
- ② 人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促す
- ③ 良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第Ⅰ部 青年期と自己の課題		10月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	
5月	第Ⅱ部 人間としてのあり方・生き方		11月	主題学習・問題演習	
6月			12月		
7月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月			3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | … 倫理と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を高める |
| 思考・判断・表現 | … 倫理的思考の過程や結果を適切に思考・判断・表現する |
| 資料活用 of 技能 | … 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける |
| 知識・理解 | … 倫理の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につける |

このため、評価は、具体的には次のものを対象とし

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2. 学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和3年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	公民科		
教科	倫理	単位数2単位	学年・コース・組 高3進学文系・アスリート
使用教科書	改訂版 現代の倫理(山川出版社)		
副教材等	改訂版 現代の倫理ノート(山川出版社)		

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める
- ② 人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促す
- ③ 良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第Ⅰ部 青年期と自己の課題		10月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	
5月			11月		
6月	第Ⅱ部 人間としてのあり方・生き方		12月		
7月			1月		
8月		第1学期期末考査	2月		
9月			3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | … 倫理と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を高める |
| 思考・判断・表現 | … 倫理的思考の過程や結果を適切に思考・判断・表現する |
| 資料活用 of 技能 | … 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける |
| 知識・理解 | … 倫理の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につける |

このため、評価は、具体的には次のものを対象とし

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2. 学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和3年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	公民科				
教科	倫理	単位数	2単位	学年・コース・組	第3学年・文系・3・4・5・6・7・10組
使用教科書	改訂版 現代の倫理(山川出版社)				
副教材等	改訂版 現代の倫理ノート(山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める
- ② 人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促す
- ③ 良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第Ⅰ部 青年期と自己の課題		10月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	
5月	第Ⅱ部 人間としてのあり方・生き方		11月	主題学習・問題演習	
6月			12月		2学期 期末考査
7月	第Ⅲ部 現代社会と倫理	1学期 期末考査	1月		
8月	夏季休業期間		2月		
9月			3月		

※高校3年生は2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- 関心・意欲・態度 … 倫理と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を高める
- 思考・判断・表現 … 倫理的思考の過程や結果を適切に思考・判断・表現する
- 資料活用 of 技能 … 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける
- 知識・理解 … 倫理の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につける

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用 of 技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します